

残寒の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、12月に実施させていただいた後期学校アンケートでは、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。保護者の皆様、子供たちからいただいた後期の学校アンケートの結果を分析し、本年度はもちろん、令和6年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。紙面の関係上掲載しきれないものもありますが、すべてのご意見を真摯に受け止め、全職員で共有し、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。本年度も残り少なくなりましたが、子供たちのため最後まで全力で取り組んでいきたいと思っております。今後も、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【ランドデザインの重点評価項目】

前期学校だより（学校アンケート特別号）でもお伝えしたように、本校ではランドデザインに重点評価項目として、以下の項目において数値目標を設定し全職員で取り組んでいます。以下に、その評価結果と前期との差を示します。なお、数値は肯定的な回答（「A.とてもそう思う」「B.そう思う」の合計）で示しています。

質問項目※（）は保護者	目標値	前期評価	後期評価	差
学校がたのしい （お子様は、楽しく過ごせている）	90%	◎94.3% （◎94.6%）	93.4% （95.2%）	-0.9 （+0.6）
友達との活動が楽しい （お子様は、友達と協力して活動できている）	90%	◎94.7% （◎90.7%）	95.3% （94.3%）	+0.6 （+3.6）
安心できる学校 （岩松北小は、安心して任せられる）	90%	◎92.1% （◎90.5%）	92.6% （95.0%）	+0.5 （+4.5）
信頼できる先生がいる （お子様には、相談できる先生がいる）	90%	86.2% （70.7%）	85.0% （79.8%）	-1.2 （+9.1）
授業が分かる （お子様は、学習した内容を理解している）	85%	◎90.8% （78.9%）	91.1% （80.9%）	+0.3 （+2.0）
進んで発表 （お子様は、自分の考えを友達や教師に伝えることができている）	85%	●73.3% （69.6%）	73.6% （73.8%）	+0.3 （+4.2）
読書は楽しい （お子様は、読書を楽しんでいる）	90%	87.5% （60.2%）	87.3% （59.3%）	-0.2 （-0.9）
ICTの活用 （ギガタブレットは授業で活用されている）	90%	●71.4% （59.7%）	78.3% （72.0%）	+6.9 （+12.3）

子供たちの評価結果を見ると、多少の増減はあるものの、前期と同様に友達と一緒に活動したり、学習したりしながら楽しく、安心して学校生活を送れていることがわかります。一方で、「進んで発表」「ICTの活用」の項目は、前期に比べ向上しているものの、まだ目標値には達しておらず、今後も意識して取り組んでいく必要があると感じます。



また、保護者の評価結果を見ると、「ギガタブレットは授業で活用されている (+12.3%)」をはじめ、「相談できる先生がいる (+9.1%)」「安心して任せられる (+4.5%)」など多くの質問項目で評価が向上していることがわかります。

これは、コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、全校で実施した運動会を見ていただいたり、授業参観旬間に多くの保護者のみなさまに来校いただいたりしたことで、子供たちの学校での様子がこれまで以上に伝わったためだと嬉しく感じています。



これらの結果に満足することなく、3月の卒業・進級まで授業改善に生かしていきたいと思えます。今後も、子供たちのため学校と家庭が協力しながら進めていけますようご協力をお願いいたします。

【その他の項目】

重点評価項目以外で特徴的な質問項目について考察しました。

質問項目 ※ () は保護者	後期評価	前期との差
授業や行事などで、家の人や地域の人がお手伝いに来てくれることはうれしい (岩北小は、コミュニティ・スクールの取組が推進されている)	94.6% (85.3%)	+1.1 (+23.7)

上記の質問項目において前期の保護者アンケートの結果は 61.6%とやや低い評価であり、「CSについて、保護者のみなさまへの周知が十分でない」と考察をしました。

後期の評価を見ると、23.7%向上し、85.3%の方がCS (コミュニティ・スクール) の取組が推進されていると回答してくださっています。これは、CSディレクターの地道な活動の成果であるとともに、それに応じてサポート活動にたくさんの方がご協力いただいた成果



であると感じています。登下校や学校行事・授業の見守りサポーターや、掲示物作成、図書室経営のお手伝い等これまでに延べ900人以上の方が岩北小の子供たちのためにご協力いただいています。改めて感謝申し上げます。今後も「地域とともにある学校」を目指しCSの推進に取り組んでいきます。

質問項目 ※ () は保護者	後期評価
災害があったとき、自分の命を守るために考えて行動できると思いますか (お子様は、自分の命を守るために適切な判断や行動を取ることができると思いますか)	93.7% (83.4%)

上記の質問項目において児童の評価 93.7%、保護者の評価 83.4%と高い評価となっています。ただ、この結果に安心してはいけな
いと感じています。先日、能登半島地震が起き、多くの方が被害を受けられました。災害はいつ起きるか分かりません。また、災害は想定外のことが起きます。その時、最善の行動ができるよう、子供たちだけでなく大人も一緒に、自分事として学んだり訓練をしたりしておく必要があると強く感じています。学校の防災訓練においても、非難するだけでなく、その後各ご家庭に引き渡すところまで想定し、各ご家庭と協力した実践的な訓練も大切になってくると考えています。さらに、登下校中や家庭にいる時など様々な状況が考えられます。是非ご家庭でも話題にいただき、学校と家庭が連携した防災教育が推進していけるようご協力をお願いいたします。



【保護者の皆様からいただいたご意見（一部）】

情報発信・デジタル化について

- ・マチコミから、お知らせやお弁当のアナウンスなどしていただき本当に助かっています。
- ・特別な授業の時（体験、社会科見学など）は、マチコミで様子を流してほしい。
- ・今回のアンケートのように、学校からの連絡や情報発信のデジタル化がさらに進むとよいと思います。

本校では、保護者の皆様と学校との情報交換ツールとしてマチコミアプリを活用しています。保護者の皆様からは、欠席連絡やアンケートの協力など、学校からは、急な変更連絡やリマインダーとして使用しています。そのおかげで、時間や手間が軽減されたり、円滑な学校生活を送ったりすることができています。今後も必要に応じて、マチコミを活用していきます。一方で、マチコミを利用して、もっと子供たちの様子を配信してほしいというお声もいただきました。特に、特別な授業（体験、社会科見学 等）の時は、子供たちの様子をリアルタイムで配信してほしいという希望でした。学校として、できる限り子供たちの様子を伝えていきたいと考えていますが、活動内容や教職員の数などにより、リアルタイムでの配信ができない場合が多いこともご理解いただけたらと思います。



例えば、修学旅行は、旅行会社が手配してくれたり、バスガイドや現地スタッフが子供たちを引率してくれたりします。また、同行する引率教員も多くいます。そのため、比較的情報発信がしやすい環境があります。それに比べ、各学年の社会科見学等の行事は、担任教員が主体となり、手配や引率に加え、子供たちへの支援や安全確保等へ力を注ぐ必要があります。また、野外で電

波の届きにくい環境での活動もあります。保護者サポーターにもご協力をいただきながら行事を行っています。子供たちが、大きなけがやトラブルに会わず、安全に活動できることを第一に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

後期学校アンケートにつきましては、保護者の皆様のご協力もあり、デジタル化して実施する事ができました。ありがとうございました。保護者の皆様からも「直接やり取りできて取り組みやすい」「スマホですぐにできるのでよかった」などのお声をいただきました。私たち教職員も回収や集計処理等の業務が軽減され大変ありがたかったです。実際にデジタルで実施したことで、多くのメリットを感じる事ができました。一方で、紙媒体で実施した前期と比べ、回収率が減ってしまったことがデメリットであると言えます。新しい取り組みであるため、伝わりにくかったところもあったかもしれません。今後も効率的なやりとりのため、皆様にご協力をいただくことも多くあると思っております。ご不明な点は遠慮なくお問い合わせください。

学校行事について

- 音楽発表会や親と子の集いなど少しずつ以前のような行事ができるようになれば子供たちも地域や縦横の広がりが増えると思っております。
- 保護者と学校、子どもや先生との関わりがあると良いなと思っております
- みどりの学校は夜キャンプファイヤーをやるという面でも、もう少し早い時期に実施した方が良いのではないかと思う。

学校行事につきましては、以前行っていた行事を復活させたいというご意見を今回もいただきました。学校生活において、日々の授業の時とは違った活動は子供たちを大きく成長させたり、忘れられない思い出になったりします。

10月に行った全校での運動会では、半日開催ではありましたが多くの保護者の皆様に応援していただき、生き生きと活動に取り組む子供たちの姿を見ることができました。また、6年生が学校の代表として、張り切って準備や運営、応援を行う姿が見られ、大きく成長する機会となったことを感じました。今後も、改めてその目的や行い方を検討しながら、児童の過重負担にならないよう、よりよい行事を計画していきます。

また、みどりの学校につきましては、市内の小学校が平等に使えるよう、利用日がローテーションで決められています。その時期に応じた自然を感じられる行事としていきたいと思っております。

さらに、以前行っていたPTA主催の「親と子の集い」は、子供も大人も楽しく盛り上がる事ができたお祭りであったと聞いています。実際に関わったり、参加したりした保護者の方もいらっしゃると思っております。ただ、以前と比べ、PTA活動が縮小されているため同じようなお祭りを企画・運営することはできません。そのため、現在はCSディレクターを中心に地域の力も借りながらそれに代わるような行事ができないか検討しているところです。CSの更なる推進のため、皆さまもサポーターとしてご協力いただけますようお願いいたします。

